



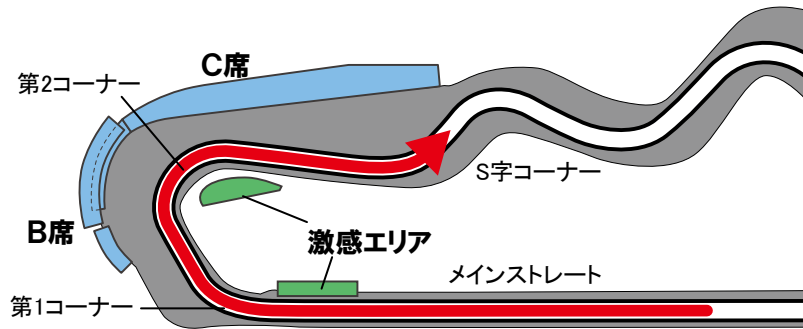
**舞台は数々の名勝負が生まれた第1～第2コーナー
時速200kmオーバーの飛び込みから
新たなD1伝説が誕生する**



今年のD1グランプリは新たな舞台設定で開催される。これまではダンロップコーナーをスタートし、逆バンクコーナーを駆け下りて争われていたが、今年は第1～第2コーナーへと変わった。F1を始めフォーミュラ・ニッポン、SUPER GTなど様々なレースで名勝負を生んできた、あの鈴鹿の第1～第2コーナーだ。グランドスタンド前のメインストレートをスタートしたマシンは、時速200kmオーバーで第1コーナーに飛び込む。短いストレートを挟んで大きく曲がり込む第2コーナーに入っていくのだ。D1マシンはここをどのように駆け抜けるのだろうか？分かっているのはこれまで経験したことのないハイスピードバトルとなること。そしてどのレースとも違う大迫力の走行シーンが展開されることだ。

B席、C席、さらには激感エリア。どこからでも迫力バトルの全てが観戦できる！

この対決の様子が今年は第1コーナー先のB席、第2コーナーからS字コーナー進入にかけてのC席、さらには第1コーナーイン側、第2コーナーイン側に設けられた激感エリアからも観戦することができる。今年の観戦の特徴はどこからでも全体が見渡せること。激感エリアはさらに近くで観戦ことができ、マシンが自分の方に向かってくる感じが。今年はハイスピードが特徴なだけに、これまでよりも迫力のあるシーンが見られるはずだ。



第2コーナーイン側激感エリア
(2012年2&4レースにて)

鈴鹿でのレース経験者が強いのか！？

谷口信輝、織戸学、片岡龍也、今村陽一、古口美範の対決に注目

舞台が第1～第2コーナーとなり、さらにハイスピードとなったことで対決の図式が大きく変わるかもしれない。メインストレートから第1コーナー飛び込みや、第2コーナーへのアプローチを誰よりも知っているのが、SUPER GTに参戦して活躍している織戸学、谷口信輝、片岡龍也だ。織戸は今シーズンのD1開幕戦でトヨタ86をデビューさせたが、まだセッティングが不十分な状態だった。鈴鹿ではマシンも本来のポテンシャルを発揮するはず。これに織戸の鈴鹿でのキャリアが加われば大迫力の走りを披露してくれるのは確実。D1初年度(2001年)チャンピオンの谷口は今年7年ぶりの復帰となったが、昨年はSUPER GTのGT300クラス、スーパー耐久、シビックワンメイクでトリプルチャンピオンに輝いた実力の持ち主。ブランクは問題ないはずで、織戸同様の快走は間違いない。片岡も豊富な鈴鹿の経験を生かして上位進出を目指す。さらには昨年のD1チャンピオン今村陽一、今シーズン開幕戦を制した古口美範も鈴鹿でのレース経験があり、ハイスピードバトルは望むところだ。鈴鹿を知り尽くした彼らの対決が楽しみとなった。



今村陽一

■ドライバーコメント

織戸学



「鈴鹿サーキットの第1、2コーナーは世界的にも有名だから走る選手も、観るファンもすごくエキサイティングだと思う。観客席から全体が見渡せるし、かなりスピード感があって面白いと思う」

谷口信輝



「ストレートから第1、2コーナーに飛び込んで来る。難易度は今までとまるっきり違う。ハイスピードなのでドライバーの恐怖心も出てくるし、ミスもしやすくなるので面白い戦いになるだろうね」

片岡龍也



「200kmオーバーの戦いはどのサーキットよりも迫力がある。SUPER GTなどで鈴鹿を走っているので有利と言われるけど、トップの選手はレベルが高いから、激しい戦いになるのは間違いないね」

単走ファイナル、追走トーナメントのタイトルを争う。

1対1の超接近戦追走トーナメントは迫力倍増！

D1は単走ファイナルと追走トーナメントで争われる。まずは予選が行われ、単走ファイナルへの出走24台を決める。前戦のランキング16位までは予選が免除されるため、ここで生き残るのはわずか8台の狭き門となる。シードされた16台と予選を勝ち抜いた8台の合計24台が単走ファイナルへ進み、1台ずつの単独走行。「角度」「スピード」「走行ライン」



追走(イメージ)

などの要素がチェックされ点数が与えられる。

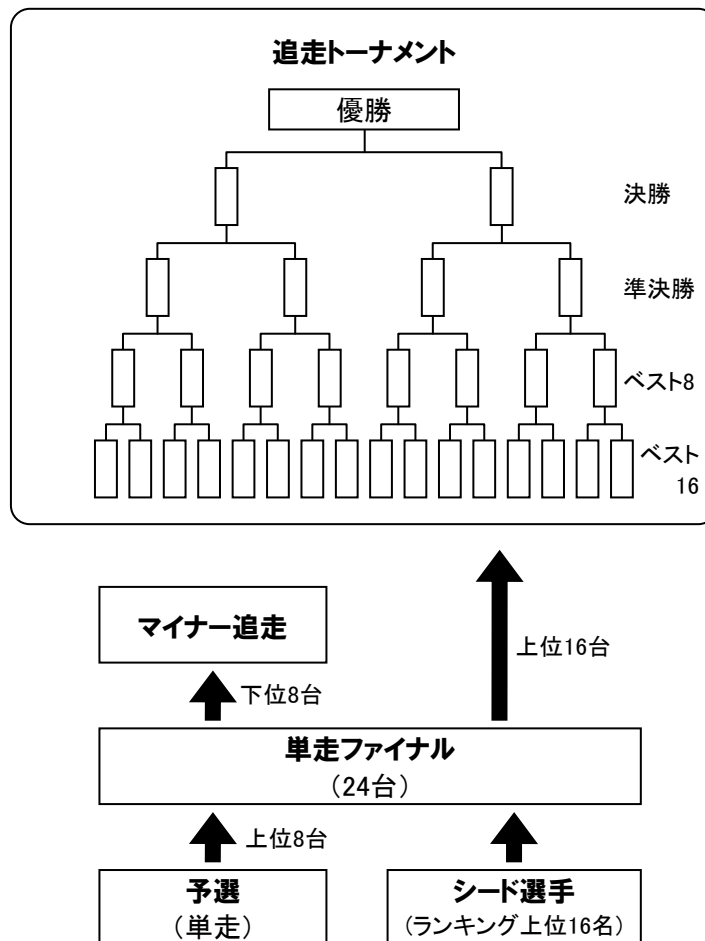
さらにここでの上位16台が王者をかけた戦い「追走トーナメント」に進出し、下位8台はシリーズポイント1ポイントをかけた1回戦のみの戦い「マイナー追走」へと進む。追走はD1最大の見せ場。

先行のマシンに引き離されたら負け。先行車との距離をつめ、インに入れば勝ちだ。前後を入れ替えての2回の走行が行われ、追走トーナメントはベスト16からベスト8、準決勝、決勝へと進み王者が決定する。



単走(イメージ)

■競技方式



イベント情報

86 & BRZ in 鈴鹿大集会開催！ 飯田章、織戸学の先導でフルコースをパレードラン

復活した名車トヨタ86とスバルBRZオーナーによる鈴鹿サーキットフルコースのパレードランが行われることになった。今シーズンはこの86、BRZで織戸学、谷口信輝、日比野哲也が参戦しており、彼らを応援するためのパレードでもある。当日は86使いで知られる飯田章、さらに織戸学両選手が先導走行する他、スバルで活躍する国内トップラリーリストの新井敏弘がBRZでデモランを実施。華麗な走行を見せてくれることになった。ファンならずとも見逃せないイベントだ。

- 開催日：5月26日(土)
- 場所：鈴鹿サーキット・A1パドック
- 時間：9:30～11:30
- 参加資格：D1GP第2戦in鈴鹿の『前売2日間通し観戦券』を1枚以上購入し、『トヨタ86』か『スバルBRZ』でご来場のお客さま
※同伴者も前売2日間通し観戦券が必要になります。
※トレノ・レビン(AE86)は対象外です。
- 参加特典：1. 鈴鹿サーキット国際レーシングコースのパレードラン(2周)
※先導車による体験走行です(ヘルメット、グローブ、レーシングスーツの着用不要)
2. 飯田章、織戸学、谷口信輝、日比野哲也、新井敏弘、お好きなドライバーと記念撮影
3. 水戸納豆レーシング鈴鹿集会限定ステッカー配布
- 参加料金：1,000円(税込)※A1パドック特別専用駐車場の駐車料金として
- 募集台数：200台(先着順)
- 応募方法：応募用紙に必要事項をご記入のうえ、D1コーポレーション宛に『FAX』『メール』『郵送』のいずれかにてご送付ください。
- 応募用紙：D1グランプリ公式ホームページよりダウンロードください。
<http://www.d1gp.co.jp/d1/gp/gp2012/gp1202/news120502.html>
- 応募締切：2012年5月18日(金)
- 参加受理：応募締切後に『受理書』『誓約書』『集合場所地図』をお送りいたします。
- 申込先：D1コーポレーション
〒162-0053 東京都新宿区原町3-19 ラーズビル402『86 & BRZ in 鈴鹿 大集会!』係
TEL.03-5287-2939(平日9:30～18:30)
FAX.03-5287-3834(24時間)
e-mail info@d1gp.co.jp

チケット好評発売中！

[価格はすべて税込]

※5月27日(日)激感エリア券は完売いたしました。

■前売券

2日通し観戦券		土曜日観戦券	
大人	子ども (3歳~中学生)	大人	子ども (3歳~中学生)
5,000円	2,500円	2,000円	1,500円

※ゆうえんちモートピアパスポートはチケットに含まれておりません。

激感エリア券(別途観戦券必要)		
	大人	子ども(3歳~中学生)
5月26日(土)	1,000円	500円
5月27日(日)	1,500円	1,000円

※各日枚数限定での販売となります。

※コースサイドの観戦エリアで、エリア内には座席はありません。
※コースとの間にタイヤバリヤ(高さ約1.2m)やガードレール
があります。子ども券ご購入際は予めご了承ください。

■当日券

観戦券		
	大人	子ども(3歳~中学生)
5月26日(土)	2,500円	2,000円
5月27日(日)	5,500円	3,000円

激感エリア券(別途観戦券必要)		
	大人	子ども(3歳~中学生)
5月26日(土)	1,500円	1,000円
5月27日(日)	2,000円	1,500円

チケットのお求めは

■オンラインショッピングサイト(MOBILITY STATION)

P C <http://mls.mobilityland.co.jp>
 モバイル <http://mls.mobilityland.co.jp/mobile/>
 (鈴鹿サーキット オンラインショッピングサイト)

5月20日(日) 24:00 (24時間販売)

■お電話による通信販売 ☎059-378-1100<通信販売専用電話> (鈴鹿サーキットモビリティステーション)

5月20日(日) 16:00 (10:00~16:00)

■窓口での販売 (鈴鹿サーキットモビリティステーション)

5月25日(金) 17:00 (10:00~17:00)

■プレイガイド・コンビニエンスストア

販売期間:5月26日(土)まで販売 ※一部販売期間が異なる券種がございます

●ローソンチケット ●ローソン

チケットに関するお問い合わせ: 鈴鹿サーキットモビリティステーション ☎059-378-1111(代)